

ITで解決！在インドネシア日系企業のビジネスリスクと経営課題 ～本社のコンプライアンス・内部統制に応え、現地の法制度対応・経営情報の見える化を実現～

インドネシアに進出した多くの日系企業様は、「現地の法制度・商慣習」、「日本本社からの内部統制要求」に対応しなければならないという「守り」の課題と、業務効率・業務品質を向上させ、ビジネスを拡大させる、という「攻め」の課題を抱えています。双方の課題を解決するためのヒントを、業務的観点およびシステムの観点からご紹介します。

プログラム

8:00 – 8:30

受付・朝食(無料)

8:30 – 8:35

ご挨拶

東洋ビジネスエンジニアリング インドネシア President Director 内田 雅也

8:35 – 9:25
(50 mins)

インドネシア日系製造業にみる業務課題と解決の方向性(基調講演)

インドネシアに進出した日系企業の中には、インドネシア固有の業務課題に悩まされ想定した成長を達成していない企業も少なくありません。本講演では、インドネシアでとりあげられるコスト管理、在庫管理、人事制度等の業務上の課題について掘り下げ、具体的な事例とともに解決の方向性を解説します。

PT. PricewaterhouseCoopers Consulting Indonesia Advisor 新井 聡

(休憩 15分)

9:40 –
10:40
(60 mins)

ぬけ！もれ！不正！のない業務運用 ～人事労務&申請・決裁プロセス編～

変化の激しい複雑なインドネシアの法制度に適合した人事労務管理なら、在日系企業に100社以上導入済みのシステム”SPISy”が、申請・決裁の確実な実行と履歴管理を支援するワークフローなら、アジアで実績豊富なシステム”NS Biz Booster”が実現します。

新日鉄住金ソリューションズ インドネシア
サクラシステムソリューションズ

Director 渡辺 琢
Vice President Director 小林 啓

10:40 –
11:30
(50 mins)

海外現地法人における会計・生産/原価管理システム導入のポイント

経営情報可視化、現地法制度対応、海外拠点のガバナンス構築・強化、グローバル連結原価、業務・システムの標準化・見える化、日本本社への報告の迅速化などといったご要望を実現する、会計/EPRパッケージの“A.S.I.A. GP”と生産/原価管理パッケージの“MCFrame”をご紹介します。

東洋ビジネスエンジニアリング インドネシア Marketing Director 吉田 真一郎

開催概要

日時: 2016年4月20日(水) 8:30～11:30 (8:00 受付開始)

会場: The East (2ページ目地図をご参照ください)

対象: 日系企業社長、経営幹部、管理職の方々

※なお、同業他社の方のご参加はお断りさせていただいております。

言語: 日本語

参加費: 無料(事前登録制、会場の都合により40名様(お申し込み順)とさせていただきます。)

お申し込み:

4月18日(月)までに下記サイトにてご登録ください。

参加登録サイト:

<http://seminar.sakura-system.co.id/jpn/register>

※登録サイトにアクセスできない場合は、ご氏名、貴社名を添えて下記のお問い合わせ先にメールにてお申し込み下さい。

お問い合わせ:

その他、お問い合わせ等ございましたら下記までご連絡ください。

seminar_20160420@id.nssol.nssmc.com

会場マップ

■住 所: The East, 10th floor Jl. Lingkar Mega Kuningan
Blok E3.2 Kav. 1 Jakarta 12950

